

© 発行 中京大学
〒466-8666
名古屋市中昭和区八事本町101-2
広報部
TEL 052-835-7135
スポーツ振興部
TEL 0565-46-6935
http://www.chukyo-u.ac.jp



中京大学スポーツ

学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ

2016 (平成 28) 年

4月25日

第12号

100メートル背泳ぎ

長谷川選手 リオ五輪代表

「中京大で成長できた」



電光掲示板でタイムを確かめガッツポーズの長谷川選手 (AFLO SPORT)

中京大学を練習拠点にする水泳の長谷川純矢選手(2015年度スポーツ科卒、ミキハウフ)が、リオデジャネイロオリンピックの100メートル背泳ぎ日本代表に決まった。長谷川選手は五輪代表選考会を兼ねた競泳の日本選手権(4月4-10日、東京辰巳国際水泳場)で、派遣標準記録と同タイムで2位となり、代表の座をつかんだ。また、松田丈志選手(2006年度体育卒、セガサミー)が800メートルリレー代表に名を連ねた。

4月6日に行われた、つちりと泳ぎ切る。ずっと100メートル背泳ぎ決勝。佐々木祐一郎コーチから「絶対だ。」「手応えがあった。」「目標通りに行こう」と声援をかけた。長谷川選手は「自分を信じて練習通り何と派遣標準記録と同記録にやろう」と決意、スタートだった。前日の予選、準決勝は前半から積極的に行ったが、

いずれも54秒前半。4番目のタイムで決勝にコマを進めたものの、「どこかしらくりにない展開だった。しかし、決勝では前半から好位置につけ、さらに終盤の強烈な追い込みで、タイムを準決勝の54秒10から0秒61縮めた。「入学したころは大人しく、線が細かった。佐々木コーチはそう振り返る。水泳部の仲間たちと切磋琢磨し、明るくたくましくな

代表で、中京大学を練習拠点にする市川華菜選手(陸上短距離、2012年度体育学部卒)、ディーン元氣選手(やり投げ、早大卒)とともにミスノトラッククラブ所属のトレーニンングを3月に正式契約した。両選手の競技力強化を支援するとともに、ミスノと共同でCISPメソッドの高度化に取り組み。

寺本選手 連続代表に自信

体操女子 五輪本番「平常心で」

体操女子の寺本明日香選手(スポーツ科3、名経大市野)が、リオ五輪代表選考の最初の大会、全日本個人総合選手権(4月1-3日、国立代々木競技場)で2位となった。練習の8割以上の力が発揮できた。この調子で行ければ代表は必ずとれます。2大会連続の五輪出場が視界に入っている。世界と戦うには高難度のDスコアの技が不可欠だ。寺本選手は大会で、跳馬の大技「チュロヒチナ」(前転跳び前方屈身宙返り一回ひねり)を成功させた。「2年前から試行錯誤してきた。今は完成形に近づき、自分のものになった」と自信を深めた。床運動では、引



床運動で軽やかな演技を見せる寺本選手 (AFLO SPORT)

張っていきたくて、団体戦も見据えている。できるだけ平常心で臨みたい」と。精神面でも安定している。代表選考は、5月のNHK杯、6月の全日本種目別選手権を含む3大会の結果から選手(スポーツ科1、武豊は、全日本個人総合で17位だった。しかし、得意の平均台で高得点を出せば五輪代表入りのチャンスがある。残る選考会で起死回生を狙う。

中京大学名古屋キャンパスで行われた締結式で、梅村清英総長・理事長、ミスノの水野明人社長が協定書を調印した。記者会見した梅村総長・理事長は、アスリート育成で密接だったミスノとの関係をさらに深め、「スポーツ文化を益々この日本全国で広めていきたい」と挨拶。水野社長は「これまで大学と企業は別々に歩んできたが、両者の連携でこれまで以上にスポーツが盛んになるといい」と話した。

中京大学は、ミスノとの連携協定締結の記者会見で、トップアスリート育成事業「CISP」(Chukyo University Institute of Sports Performance)を学内外で本格的に展開することを表明した。(関連記事3面)



締結式に出席した(左から)市川選手、安村仁志学長、梅村総長、水野明人社長、水野英人取締役、ディーン選手

梅村学園とミスノ提携

スポーツで地域づくりに貢献

梅村学園と総合スポーツメーカーのミスノは3月14日、連携協力協定を締結した。教育・研究、人材育成、スポーツ振興、社会貢献などに両者が連携して取り組む。スポーツ文化がふるれる地域づくりに貢献する。梅村学園がスポーツ分野で企業と提携するのは初めてとなる。

すでに中京大学とミスノは、スポーツキャラクターの統一、デレゲーションウエアの開発を進めており、早ければ来年3月にもウエアが完成する見通し。

中京大学のスポーツ情報
大学HPの「スポーツ」(http://sports.chukyo-u.ac.jp/)、facebook「スポーツ振興部」(左下QRコード)で紹介しています。
「中京大学スポーツ」に関するご意見は、スポーツ振興部(sports@mng.chukyo-u.ac.jp)へお寄せください。

題字は榎本樹郎先生(中京大学名誉教授)揮毫

活躍できる環境を整備

中京大学体育会の種田行男会長(副会長)が、会長就任2年目に入った。この1年間、体育会員を対象にした大規模な研修会を開催したほか、体育会幹事会の機能強化にも取り組んだ。今後の体育会運営について、種田会長に寄稿していただいた。

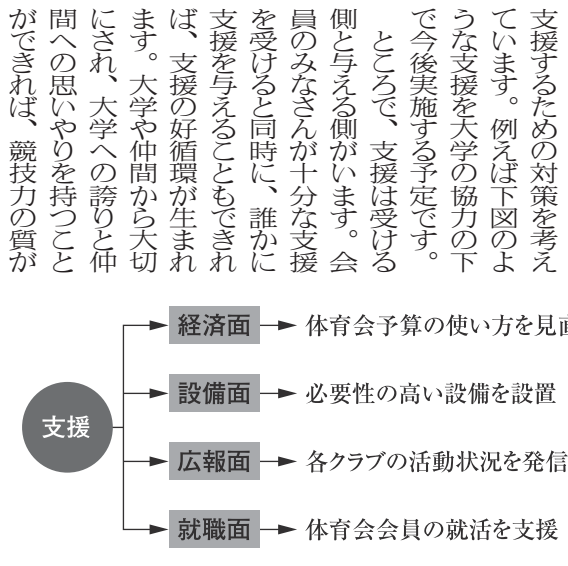
種田行男・体育会会長が寄稿

中京大学体育会は長年、業生、教職員、それらの家に渡って輝かしい功績を残し、親戚・友人などに中京に誇りをもち、そして、今、アイデンティティを育み、後にも益々の活躍が期待され、一人ひとりの生活に活力を与えます。体育会の活躍は中京、卒、この好循環を継続する大学の関係者(在学生、卒、)と与えています。



種田・体育会会長

ためには、体育会員のみなさんが活躍しやすい環境を整えて、充実した生活を送れるようにしなければなりません。現在、体育会幹事会が中心になって、会員を支援するための対策を考えています。例えば下図のような支援を大学の協力の下で今後実施する予定です。



「『体育会入って良かった』と思える組織に」

著しく向上することでしょう。中京大学の建学の精神である「スポーツと学術の真剣味の殿堂たれ」は、スポーツ競技力が優れた学生を以て中心にして、会員を支援するための対策を考えています。例えば下図のような支援を大学の協力の下で今後実施する予定です。

陸上長距離期待の3新人

光部、権田、杉浦選手



(左から) 権田、杉浦、光部選手

陸上競技部の女子長距離に頼もしい3人が加わった。岡崎学園高校から光部風沙、権田結希の2選手、それと愛知黎明高校から杉浦穂乃加選手。3人ともスポーツ科学部に入学した。岡崎学園は、中京大を今春卒業し、デンソー入りしたユニバーシアード5000m銅メダルの庄司麻衣選手の母校。岡崎学園は昨冬の全国高校駅伝に、愛知県予選9連覇を狙った豊川を破って初出場した。

都大路では途中棄権という結果になったが、光部、権田両選手は5人のメンバーに選ばれ、権田選手は3区で7位から6位に順位を上げた。アンカーを任された光部選手にはチームの糧はつながらなかったものの、「気持ちの切り替えてしっかり歩を進めました」。一方、杉浦選手は愛知黎明の要としてチームをリードしてきた。1500mが4分20秒台のスピードが魅力だ。光部選手は「練習の時と普段との切り替えをきちっとしたい」、権田選手は「自分をしっかり管理して頑張りたい」、杉浦選手は「名門の大学に来たので一段と高



男子バレー新戦力 ジェフリー選手

男子バレーボール部のエバデダン・ジェフリー選手(スポーツ科1)は、入学早々レギュラー陣の一角を占める。父親はナイジェリア出身だが、日本から出たことがない。日本語しか話せない。身長1.85mながら身体能力を生かしたジャンプが魅力で、センターのポジションでブロックとアタックが主な役割だ。岐阜県海津市生まれ。小学5年から近くのクラブでバレーボールを始めた。中山繁監督はレギュラーに

JOAと中京大 高校生18人に五輪教育 豊田キャンパス

18人が参加した。近代五輪の創立者クーベルタンは「心身の向上、文化や国籍などの違いを超えた友情・連帯感、フェアプレー精神を理解し合うことで平和な世界実現への貢献」というオリンピックズムを掲げており、その大切さを知ってもらうため、JOAと中京大が主催した。実行委員長は来田亨子・スポーツ科学部教授が務めた。JOAの講師のほか、中京大をはじめ至学館大、東海学園などの学生、大学院生がスタッフとして参加。高校生と食事を共にしながら交流を深め、スポーツ体験や講義など様々なプログラムに挑戦する高校生をサポートした。



富田選手3連覇 全日本学生

2016全日本学生スノーボード大会のスノーボードクロス競技が3月18日、車山高原で行われ、富田マリヤ選手(スポーツ科4、管)が写真が学生女子で優勝し、3連覇を達成した。大会当日は風が強く、決勝だけで競った。安定した滑りを心掛けたという富田選手は51秒21の記録となり、2位に約4秒差をつけて勝利した。富田選手は来年2月のユニバーシアード大会(カザフスタン)出場が確実となり、「昨年のユニバは13位で悔しい思いをしたので、今度は入賞したい」と話している。

先輩NOW

仕事楽しいと語る山田さん

人と人をつなぐのが好き

「スポーツにかかわる仕事をすることができ、こんな楽しいことはないですよ。こう言っているとびっきりの笑顔を見せた。

10年前に起業した会社は順調だ。サッカーを中心とする子供たちのスポーツスクール、スポーツ大会やさまざまなイベントの企画と運営、スポーツ施設の管理・運営、クラウドの芝生管理などの造園関連事業と、多彩な仕事をこなしている。

その中には、中京大学が日本サッカー協会、豊田市、トヨタ自動車とともに携わっているJFA心プロジェクト「夢の教室」もあり、陸上競技部の青戸慎司監督や男子バレーボール部の中山繁監督らが小学校を訪れて、経験を生かした授業を行っている。

サッカーとの出会いは、小学校4年の時。アニメの「キャプテン翼」に影響され、サッカークラブに入った。「面白くてのめり込みました。すぐにレギュラーの座をつかんだ。中学校もサッカー部。さらに強豪校の広島県立観音高校でプレーした。

家庭の事情などで1年浪人した。学時代は県大会上位の常連。テレビで見た春高バレーに魅かれ、強豪の創造学進学。壬生義文監督のもと、心身とも鍛えられた。

身体能力の高さを見込んで入学を勧めた中京大のバレーボールを始め、中山繁監督はレギュラーに

1998年度体育学 41歳。中京大 卒業。専任講師。2003年、中京大に就職。2006年、中京大に就職。2007年、中京大に就職。2008年、中京大に就職。2009年、中京大に就職。2010年、中京大に就職。2011年、中京大に就職。2012年、中京大に就職。2013年、中京大に就職。2014年、中京大に就職。2015年、中京大に就職。2016年、中京大に就職。

株式会社フィールダー代表取締役
山田 徹治さん

「スポーツにかかわる仕事をすることができ、こんな楽しいことはないですよ。こう言っているとびっきりの笑顔を見せた。

10年前に起業した会社は順調だ。サッカーを中心とする子供たちのスポーツスクール、スポーツ大会やさまざまなイベントの企画と運営、スポーツ施設の管理・運営、クラウドの芝生管理などの造園関連事業と、多彩な仕事をこなしている。

その中には、中京大学が日本サッカー協会、豊田市、トヨタ自動車とともに携わっているJFA心プロジェクト「夢の教室」もあり、陸上競技部の青戸慎司監督や男子バレーボール部の中山繁監督らが小学校を訪れて、経験を生かした授業を行っている。

サッカーとの出会いは、小学校4年の時。アニメの「キャプテン翼」に影響され、サッカークラブに入った。「面白くてのめり込みました。すぐにレギュラーの座をつかんだ。中学校もサッカー部。さらに強豪校の広島県立観音高校でプレーした。

家庭の事情などで1年浪人した。学時代は県大会上位の常連。テレビで見た春高バレーに魅かれ、強豪の創造学進学。壬生義文監督のもと、心身とも鍛えられた。

身体能力の高さを見込んで入学を勧めた中京大のバレーボールを始め、中山繁監督はレギュラーに

夢舞台で再び輝く

陸上5選手「リオ」に照準

大学時代に2012年ロンドンオリンピックに出場した陸上選手たちが、今夏のリオ五輪で2大会連続出場を目指している。棒高跳びの山本聖彦選手(2013年度体育卒、トヨタ自動車)、十種競技の中村明彦選手(12年度体育卒、スズキAC浜松)、女子短距離の市川華菜選手(同、ミズノトラッククラブ)、やり投げのディーン元気選手(13年度巨大卒、ミズノトラッククラブ)。4人は大学卒業後も中京大学を練習拠点にし、中京大学のトップアスリート育成事業「CISP」の支援を受けて調整している。パラリンピックの佐藤圭太選手(13年度体育卒)は、中京大学職員からトヨタ自動車に4月に転籍、連続出場を狙っている。

棒高跳び 山本選手

目標は5メートル80で入賞

棒高跳びの山本選手は、室内競技会で5メートル77まで伸び、五輪参加標準記録を突破し、室内日本記録を樹立している数少ない選手の一人。その後の米国外遠征も、昨年9月の全日本実業、順調にこなし、「今は体調も、精神的にも」と、今年1月の米国内、立ち上がった。



山本選手(上)と中村選手

晴れ晴れとした表情だ。「もう一度世界の舞台で戦いたい。一からやり直そう。トヨタ入社2年目に入賞者となった。しかしその後、腰の故障などが重なり、苦しんだ。一時は「家から出るのも嫌になっただけ」の状態だったが、ア人初の6メートルという気持ちも持ちながら、現在は5メートル80を跳んでリオで入賞と目標は明快だ。

「もう一度世界の舞台で戦いたい。一からやり直そう。トヨタ入社2年目に入賞者となった。しかしその後、腰の故障などが重なり、苦しんだ。一時は「家から出るのも嫌になっただけ」の状態だったが、ア人初の6メートルという気持ちも持ちながら、現在は5メートル80を跳んでリオで入賞と目標は明快だ。



短距離 市川選手 やり投げ ディーン選手 CISPでケガ克服

短距離の市川選手と、やり投げのディーン選手は、ともにCISPの支援を受けて故障から立ち直ってきた。体の動きを改善し、本来のパフォーマンスを取り戻してきた。ロンドン五輪で市川選手は、日本女子として48年ぶりとなる400メートルのメンバーに名を連ね、ディーン選手は決勝に進出し、10位になった。しかし両選手とも五輪後はけがなどで、本意なシーズンを送ってきた。

市川選手は「どうしていいかわからなかったときに、CISPはとても力になった。運命だと思う」と言い、ディーン選手は「けがで苦しんでいた時に、CISPとコーチ(田内健二スポーツ科学部准教授)のいる場所で練習ができ、縁を感じた」と中京大との関係性を話す。

そして両選手ともオリオンピックイヤーを迎え、調子を上げてきた。沖繩県などでの合宿やオーストラリアをはじめ海外での試合も順調にこなすことができ、市川選手は「4年前は(五輪)出るだけで喜んでいて、今度個人種目も含めてきっちり勝負したい」、ディーン選手は「この4年間の学びを生かして狙った試合で結果を出したい」と、リオに照準を当てている。

十種競技 中村選手 投てきも記録伸ばす

十種競技の中村選手は、日本選抜陸上和歌山大会(4月30日、5月1日)に向けて最後の調整に取り組んでいる。リオ五輪出場には、派遣標準記録の8100点をクリアし、日本選手権で8位以内が条件。和歌山で8100点を超え、日本選手権混成競技(6月11、12日、長野市)で出場決定というが中村選手が描いているシナリオだ。

「雨だといろんな種目で記録的に難しくなる。好天の下でやりたいですね。天気も味方につきたい。」



スタート練習をする佐藤選手

応援の動機は人間関係

「友人・知人が選手」最多

新生調査

スポーツを応援する動機を調査した「一緒に応援に行く友人がいる」の2項目の回答が多かったことが、現3回スポーツ関心度調査の結果、中京大学の試合に応援に行きたくなる理由は、「友人・知人が選手として出

場する」「一緒に応援に行く友人がいる」の2項目の回答が多かったことが、現3回スポーツ関心度調査の結果、中京大学の試合に応援に行きたくなる理由は、「友人・知人が選手として出

由の設問では、九つの条件を挙げ、当てはまるかどうかをマークしてもらった。「友人・知人が選手」は男性91%、女性94%と最も高率だった。「一緒に友人が選ばれる」という条件は、男性76%、女性87%と高い反応を示した。さらに、「出場する選手の顔や名前を知っている」、「応援するのが楽しい」の2項目も6割超と

なり、いずれも女性が多く選んでいた。友人・知人や選手との人間関係と比べ、競技場へのアクセス、割引チケット、授業の一環といった条件は選択率が低く、強い動機はなっていない。こうした傾向は、名古屋、豊田キャンパスで大きな差がなかった。

仲間づくり大切 村上教授

村上教授は3回の新生調査結果から次のように指す。調査結果から次のように指す。調査結果から次のように指す。

ファイギュア小塚さん 競技引退、トヨタ正社員に

「今年はずっと好調を持

ファイギュアスケートのトヨタ自動車の正社員として2010年バンクーバーオリンピック代表の小塚崇彦さんが、競技生活を引退し、4月から所属先だったトヨタ自動車の正社員として入社した。小塚さんは、昨年末の日本選手権で5位に敗れ、世界選手権出場を逃したことに触れ、「悔しさも湧いてこ



「今年はずっと好調を持

フリーの演技を終え、笑顔を見せた浅田選手 (AFLO SPORT)



浅田選手7位、笑顔戻った 世界フィギュア 魅せたフリー

フリーの演技を終え、笑顔を見せた浅田選手 (AFLO SPORT) ... 浅田選手は、今季最後の大会、世界選手権(3月30日-4月2日、米国立スプリングス)に出場し、総合7位となった。

本郷選手8位、自己新
初挑戦の宇野選手7位
フィギュアスケートの本郷選手(中京大学)は、3回転半ジャンプを着氷(ドバイサー)に笑顔が戻った。1年間の休養を経て、2季ぶりに競技に復帰した浅田選手は、今季最後の大会、世界選手権(3月30日-4月2日、米国立スプリングス)に出場し、総合7位となった。

プロボクサー田中選手
ライトフライ級に挑む
経済学部3年のプロボクサー田中恒成選手(畑中場イベントホールで、IBジム)は、WBO F世界ライトフライ級9位レネ・パティラノ選手(フイリピン)と対戦する。試合は10ラウンドで午後4時半試合開始。ライトフライ級のリミットは48・9ポンドで、契約体重50ポンドで行われる。

2季連続Vへ好発進



開幕2戦目に完封勝利した若林投手

愛知大学野球リーグ戦、2戦目は9回に突き放す接戦だったが、投手力が安定しており、危なげな1週間の愛知産業大戦に連勝した。「初戦はやはり硬さがし、連戦に向けて順調な滑り出しを見た。欲を言えは話すが、点差以上に強さを示した選手たちへの信頼はむしろ高まった。4年生が卒業し、野手陣は主力が抜けたが、内野の要、二塁手の川上平平主将(スポーツ科4、大垣南)を通じて、チーム力に手応えを感じている。初戦は3対2の逆転勝った。攻守に堅実だ。

硬式野球

一方、投手陣は主力が残る。昨秋に初完投した古田尚平投手(現代社会4、名古屋)がさらに力をつけ、開幕初戦に起用され、期待に応えた。ただ、完投は逃し、若林投手(スポーツ科3、三重)のリリーフを仰いだ。

準硬式インカレ決定 男子ハンド初戦快勝

準硬式野球部は3月下旬に名古屋市のパロマ瑞穂球場で開かれた第33回東海地区大学選手権大会で優勝し、全日本大学選手権(インカレ、8月・仙台)への出場を決めた。中京大は3月30日の決勝戦で愛知大と対戦し、6対1で快勝した。

Chukyo's COACH

準硬式野球部 中野 将監督



中野将監督(なかの・まさる) 福井県出身。1995年度中京大学体育学部卒。福井工大福井高校では硬式野球部で、主将として甲子園にも出場。中京大では準硬式野球部で主将も務めた。卒業後は豊田市役所に勤務し、現在は障がい福祉課の課長補佐。当初は市役所チームで12年間プレーを続けた。2005年10月に中京大の監督就任。1年目に全日本大学選手権を制したが、その後、優勝から遠ざかっている。10年ぶりのインカレ優勝が悲願だ。

社会で通用する人間目指す

豊田キャンパスの野球部を硬式野球部と共同で使っている。平日朝6時半から9時まで、土、日曜日は午前10時から午後6時まで。練習時間は、最近授業後に自主的にトレーニングをする選手が増えている。部の創立は、中京短大が発足した1954年。2年後、中京大が開学した時に硬式野球部が分離独立した。最も歴史がある体育会4クラブのうちのひとつである。文武両道を掲げ、多くの



中京大学と明治大学のサッカー交流戦が3月26日、愛知県豊田市の豊田スタジアムで行われた。交流戦は5回目となり、スタンドには中京大の吹奏楽団、チアリーディング部をはじめ、学生、教職員、明治大のOBなどほか、サッカースクールの子供たちや一般の市民ら約1300人が詰めかけ、声援を送った。試合は両チームが持ち味を発揮し、0対0で引き分けた。試合後には豊田スタジアム内でレセプションが開かれ、春のリーグ戦を控えた両チームが健闘を誓い合った。(文2 足立佳南子、写真も)

サッカー明大戦、応援熱く

あふれる演技を見せ、観客の手拍子を誘った。後半は高いレベルを求めました。その場所に居られ、宇野昌磨選手(スポーツ科1、中京大)は、本学に進学した4月1日に現地でフリーの演技をし、総調整方法など、競技に取り組む意識も変わった。練習内容も自分から考えるようになった。宇野選手は「トレーニング以外の4回転ジャンプも身に付けたい」と、すでに来季のことを考えている。



田中選手は「これを機会に自分のボクシングスタイルを確立し、2階級制覇を目指します」と宣言。畑中清詞・畑中ジム会長は「この試合を勝って、今年中に王座獲得を実現したい」と話した。